

記入例

令和8年度畜産経営スマート化促進事業  
（先進技術の導入支援）

実施計画書（第4条）  
 変更計画書（第5条）  
 実施状況報告書（第6条）

申請者（事業実施主体）  
 住所 ○市××番×号  
 名称 ○○畜産クラスター協議会  
 代表者 会長 滝町太郎

1 事業の目的

.....を目的とする。

2 事業の内容及び経費配分 （単位：円）

事業の内容		事業費	負担区分		備考
取組項目	内訳		県費	その他	
ア 研修会の開催					
イ 機器・設備の導入	通信環境調査、スマート機器の実証、機器導入	418,000	190,000	228,000	滝町次郎
計		418,000	190,000	228,000	

注) 事業計画の変更に係る場合にあつては、変更前の数値を（ ）書きで上段に記入すること。

注) 「備考」欄には、取組主体名を記載すること。

3 収支予算

(1) 収入の部 （単位：円）

区分	予算(精算)額	内訳	備考
県補助金	190,000		
その他	228,000		
計	418,000		

(2) 支出の部 （単位：円）

区分	予算(精算)額	内訳	備考
通信環境調査費、機器の実証費、機器の導入費	418,000	通信環境調査、スマート機器（分娩監視装置）の実証（60日間）、機器導入（分娩監視装置）	
計	418,000		

注) 事業計画の変更に係る場合にあつては、変更前の数値を（ ）書きで上段に記入すること。

4 事業完了予定年月日（又は事業完了年月日）

令和9年2月28日

## 5 添付書類

(実施計画時)

- (1) 畜産経営スマート化促進計画書 (別記第1-1号様式)
- (2) カタログ (機器を導入する場合)
- (3) 見積書

(実績報告時)

- (1) 畜産経営スマート化促進報告書 (別記第1-1号様式)
- (2) 領収書又は支払ったことが分かる書類 (振替伝票等)
- (3) 取組を実施したことが分かる書類  
(研修会資料及び写真又は調査等の報告書又は機器・設備の写真等)

畜産経営スマート化促進

計 画 書（第4条）  
 変更計画書（第5条）  
 報 告 書（第6条）

記入例

申請者（事業実施主体）

住 所 ○市××番×号  
 名 称 ○○畜産クラスター協議会  
 代表者 会長 滝町太郎

1 取組主体の経営概況と課題等

取組主体名 <sup>※1</sup>	滝町 次郎
農場(実施場所)住所	○市△番△号
飼養畜種(選択)	乳用牛、肉用牛(肥育、繁殖、一貫)、養豚、養鶏(採卵鶏、肉用鶏)
飼養頭羽数 <sup>※2</sup>	20頭(繁殖牛14頭、子牛6頭) (肉用鶏の場合;年間出荷羽数 ○○羽)
経営上の課題 <sup>※3</sup>	分娩監視作業(夜間の見回り:年間40日)の負担が大きい。
課題解決のために行う本事業の取組	機器(分娩監視装置)を導入し、分娩監視作業の省力化を図りたいが、農場が山間部にあるため、機器が利用可能な電波状況が不安がある。 そのため、通信環境の調査を行い、通信環境に問題がなければ、機器を2カ月程度試験的に導入し、効果を確認したい。その後、当牧場に有効な機械であることが確認できれば、機器を導入する。
取組により期待される効果 <sup>※3</sup>	機器(分娩監視装置)導入による分娩監視作業の負担軽減(夜間の見回り:年間0日)

※1 取組主体が複数の場合は、取組主体ごとに表を作成すること

※2 肉用鶏の場合は、年間出荷羽数も併記すること

※3 定量的に分かるように具体例を用いて記載すること

2 事業の内容

(1) 研修会の開催

開催時期	開催場所	人数・参集範囲	事業費(円) <sup>※1</sup>
合計			

(2) 機器・設備の導入

内容 <sup>※2</sup>	事業費(円) <sup>※1,3</sup>
通信環境調査	33,000
機器(分娩監視装置)の実証(60日間)	55,000
機器(分娩監視装置)の導入	330,000
合計	418,000

※1 事業費は、別記第1号様式の「2事業の内容及び経費配分」の事業費と整合性を取ること

※2 機器・設備を導入する場合は、機器・設備の種類や名称、導入台数や規模を記載  
 機器導入に必要な通信環境等の調査・整備・実証等を行う場合は、実施内容を記載

※3 機器・設備を導入する場合の施工費は、事業費に含めてもよいが補助対象外